

MINAMI MADO

2024.3. No.43



独立行政法人 国立病院機構
大阪南医療センター

大阪南医療センター 循環器疾患センター



胸背部痛、呼吸困難、動悸等
循環器疾患が疑われる際には
緊急対応連絡先へご連絡ください。

24時間緊急対応 (ハートコール)

直通 TEL : 0721-53-3200



Instagramはこちら ▶



LINEはこちら ▶



診断

当院では、上部消化管内視鏡検査や大腸内視鏡検査の際に、通常内視鏡に加えて、特殊光観察(NBI)、拡大観察、色素内視鏡などを併用し、消化管悪性腫瘍の早期発見および正確な進行度診断に努めています。

また、胆膵領域の悪性腫瘍については、逆行性胆管膵管造影(ERCP)や超音波内視鏡(EUS)、超音波内視鏡下穿刺吸引生検(EUS-FNA)などを用いて、的確な診断に取り組んでいます。

悪性腫瘍と診断がついた症例に関しては、定期的に外科と合同カンファレンスを行って、適切な治療方針を決定しています。

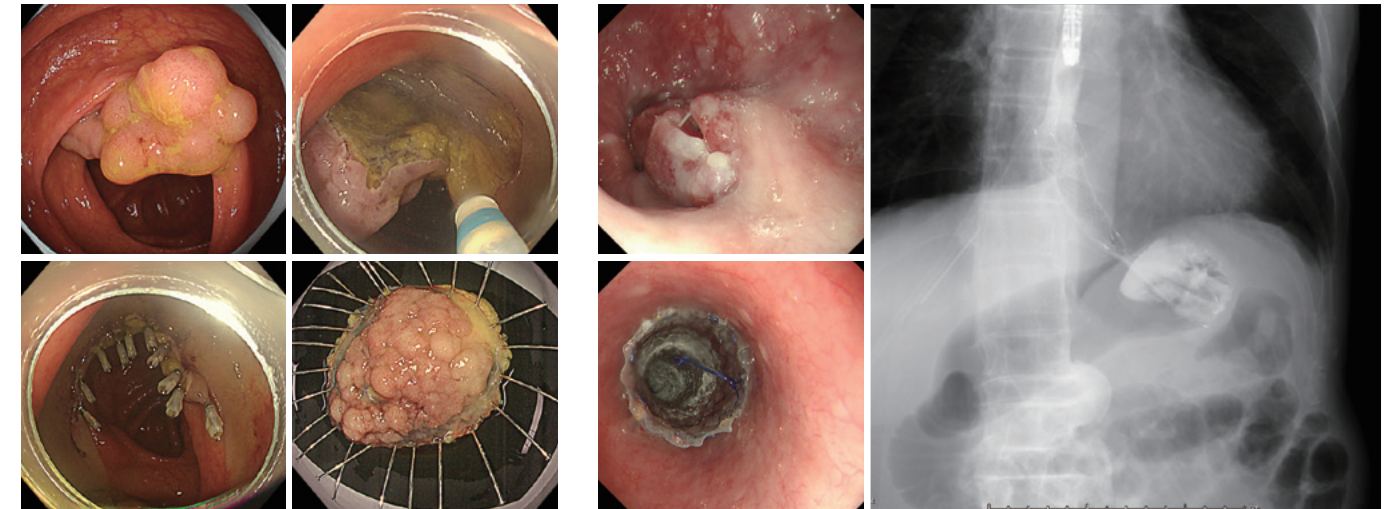


消化器科医長、内視鏡室長 笹川 哲

消化管悪性腫瘍に対する治療

早期の胃癌、大腸癌に対しては、粘膜切除術(EMR)や粘膜下層剥離術(ESD)を中心に内視鏡治療を行っています。

また、進行癌による消化管狭窄に対しては、外科的切除前の状態改善あるいは症状緩和を目的として、内視鏡を用いたイレウス管挿入や消化管ステント留置術を行っています。



大腸ESD

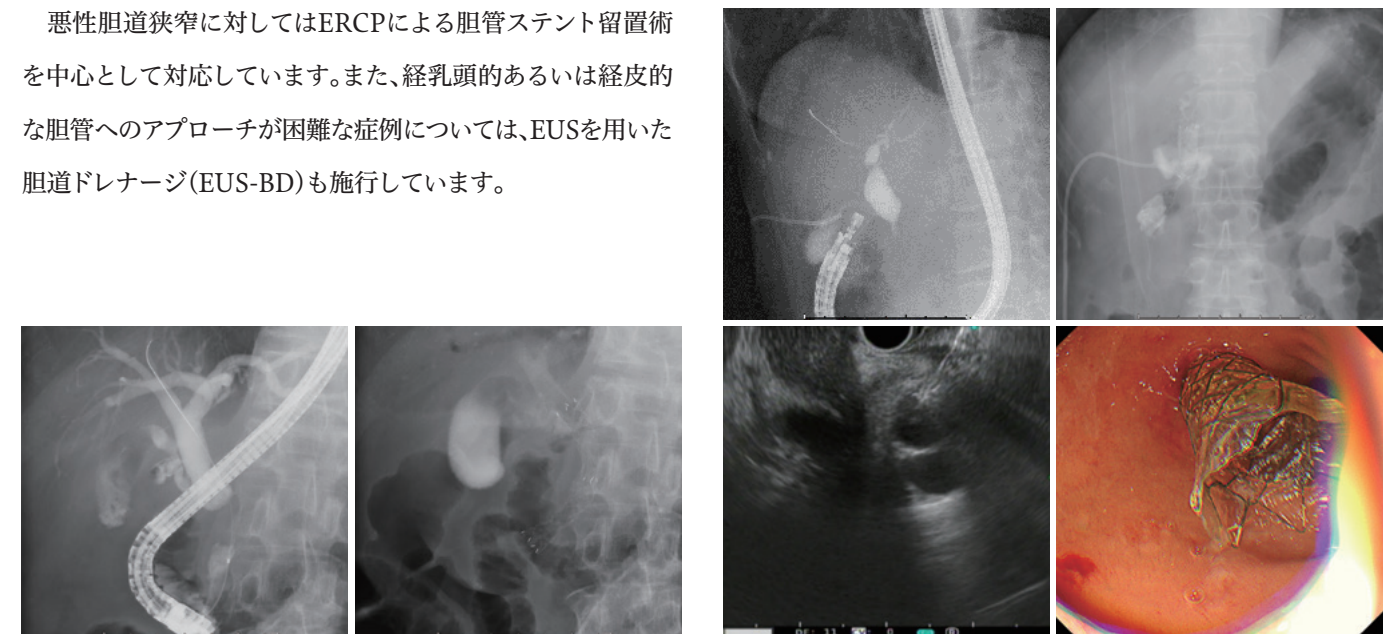
食道ステント



消化器科 外科 合同カンファレンス

胆膵領域の悪性腫瘍に対する治療

悪性胆道狭窄に対してはERCPによる胆管ステント留置術を中心として対応しています。また、経乳頭のあるいは経皮的な胆管へのアプローチが困難な症例については、EUSを用いた胆道ドレナージ(EUS-BD)も施行しています。



胆管ステント

EUS-BD